

藍住町立藍住東小学校
「学力向上実行プラン」

- 言語活動を充実させた実践による言語力の育成
- 基礎的基本的な内容の確実な習得を目指す実践

学力向上推進員 教務	委員 教頭 研修・2年主任 3年主任 5年主任	特支主任 1年主任 4年主任 6年主任
---------------	----------------------------------	------------------------------

校長

【小中連携または中高連携における共通の取組】

主体的に学習に取り組む児童，生徒を育むための指導方法の工夫改善

【各校の取組状況の把握について】

計画的な授業研究会や教員からの報告等，様々な機会を捉え，取組み状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み，学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的な学力の定着が見られる。 ○課題に対して真面目に取り組むことができる。 ●個人差があり，書く力は特に差が大きい。	基礎学力が向上している。 語彙を増やし，普段の読み，書きの活動に生かすことができる。 自分の伝えたいことを整理し，文章に書くことができる。	漢字，計算のドリル学習を行う。 読み聞かせや音読の学習を推進する。 授業中に書く時間を多く設定し，書くことの習慣づけを図る。	1人1台端末を活用し，個に応じたドリル学習や小テストを実施する。 書く活動に取り組みやすくするために，考えを整理する時間や基本の型を示して実施する。	タブレット端末を活用しながら，基礎基本の定着ができた。 意欲的に書く活動に取り組む児童が増えているが，依然苦手意識の強い児童もいる。	ドリルタイムを活用し，ドリル学習を積み重ねる。 スモールステップで学べるよう形式を提示するなどの工夫をし，書く活動に取り組みやすくする。 日記指導を充実させる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○少人数で，自分の意見を伝えられる。 ●自分の考えを言葉にし，大勢の前で伝えることが苦手である。	根拠を示しながら自分の考えを発表，表現することができる。 自分の思いを学級等，大勢の前で発表し，伝えられる。	朝の会，帰りの会等，日常的に話す，聞く時間を設定する。 話し合いの話題，形式，相手など，多様な場面設定を行う。	伝わる話し方を意識することができてきた。話し方だけでなく，聞き方も指導し，雰囲気作りをする。 引き続き場面設定を工夫する。	相手に伝わるよう話したり，考えを伝えたりすることができてきた。 意見を受け止める態度が育ち，話しやすい雰囲気ができている。	ペア，グループなど学習形態を工夫するなど，多様な対話的学習をさらに進めていく。 学級会，集会等，話したり発表したりする機会を増やす。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた態度で学習に取り組める。 ○家庭学習の習慣が身についている。 ●自分から課題を見つけたり，難しい課題に取り組んだりする積極的な姿勢が見られにくい。	苦手な内容や難しい課題について，根気強く前向きに取り組むことができる。 学習方法や内容を自分で考え，自己の力を伸ばすことができる。 積極的に発表をする。	学習ルールを見つめなおし，児童への指導を徹底する。 発表する場面を意識的に多く設ける。 グループ等で思考する時間を確保し，ヒントを提示しながら，考える楽しさを実感させる。	学習ルールを見直し，肯定的フィードバックを行っていく。 自主学習や個別に課題に取り組ませ，それぞれに成功体験を持たせる。 目標設定し，達成感を味わわせる。	短期的な目標を示したり，学習形態を工夫したりする中で，粘り強く，意欲的に取り組む児童が増えてきた。 自主学習が苦手な児童がいる。	グループ学習を通して，集団から個々への成長を目指す。 学習方法や課題を選択できるような教材の工夫をし，取り組ませるようにする。

令和4年度 学力向上ロードマップ

